

## 第9回 観音寺市新道の駅市民検討委員会 議事要旨

---

開催日時 令和6年12月13日(金) 19時00分～20時15分  
開催場所 観音寺市役所本庁舎2階 201・202 会議室  
出席者 委員11名、オブザーバー5名、事務局5名

---

### 【会議資料】

#### 議題1 資料

- ・新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本計画（素案）
- ・他市基本計画策定状況等

#### 議題2 資料

- ・新「道の駅」かんおんじ（仮称）をイメージする言葉について

#### 議題3 資料

- ・基本計画策定までの今後のスケジュール（予定）

### 【次 第】

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議題

#### (1) 新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本計画について

事務局： 「議題1資料」を用いて説明。

委員長： 説明いただいた内容で、ご質問、ご意見ありますか。

委員A： 年間売上高について、約8億2,400万円を想定しているとありますが、この売り上げの損益分岐点はいくらなのでしょう。

事務局： 試算ですが、売上高については、道の駅の利用率を見込んだうえで、計算しています。ただ、市へ納付金を支払わない場合は、年間50万人の利用で売り上げが5億円未満だと単年で収支が赤字になると想定しています。また、市へ納付金を支払う場合は、もう少しハードルが高くなり、年間55万人の利用で売り上げが6億円未満だと赤字になると想定しています。

委員A： 年間売上高約8億2,400万円のうち、地場産センター、地産地消マルシェの年間売上高が約5億4,000万円ということは、1日当たり約150万円売り上げないといけないと思いますが、この数字は考えられるのでしょうか。

委員B： 「道の駅むなかた」に行った時に、漁師の方が頭付きの魚を直接持ち込んで4,000円～5,000円で売っており、朝から飲食店の仕入れの方などがかごいっぱいに入れて購入していました。新道の駅もそのようになるのであれば、客単価も上がると思いますが、観音寺の海産物の現状を見ると、客単価を上げるのは正直厳しいと感じていま

す。

委員A： 「道の駅ことひき」の月の売り上げが約200万円くらいだったと思います。新道の駅ではこの30倍を売り上げないといけませんが、これは見込めるのでしょうか。

事務局： 1日当たり1,500人程のレジ通過者を見込んでおり、お土産の購入で客単価を上げたいと考えています。

委員長： 他市基本計画策定状況等を見ると、一人当たりの単価が出ていますが、他の施設でも500円～1,000円程度になっています。私の肌感覚でも、道の駅の客単価は500円～1,000円程度だと思うので、1,000円弱で算出している今回の収支予測は極端に高いわけではないと思います。また、道の駅は飲食施設があるかないかで集客力が違ってくると思うので、新道の駅ではコンスタントに利用者に来ていただいたり、ある程度の売り上げが見込める施設になるであろうと思われます。

委員C： より利益を出すためには、場所の自然景観が大事だと思います。できれば、高台にして建物の屋上から海や伊吹島、夕陽が沈むのが見えるように考えていただきたいです。

事務局： 景観は利用者呼び寄せるポイントの一つであると思います。

委員長： 現状、ちょうさ会館から海が見えるかということと高さが足りないですが、一の宮公園との連携については、もともとの話しの中でも出ていましたので、新道の駅の施設に良いところがあるということを見せていきたいと思います。例えば、展望台の設備が金額上難しいようであれば、壁面に眺望の絵が大きく描かれているであるとか、あるいは、スクリーン上に動画が流れているなどの工夫も考えられると思います。また、観音寺市の観光地をドローンで撮影し、それをモニターに映すことで空から観光しているような体験ができたり、ちょうさ祭りでのちょうさの位置が即時に分かるアプリの整備している会社があり、現在、観音寺市と連携協定を結んでいますが、その会社がドローンで撮影したものを活かされる場面があったら使いたいという話を以前聞いたことがあります。そのようなことも含め、ちょうさ会館など市内の既存の素材を上手く使いながら、有効に観音寺市全体の良いところを見せていく整備は心掛けていきたいところであります。

オブザーバー： 新道の駅以外に市内周辺へ波及効果はありますか。

事務局： 市内周遊による、市内のお店での飲食やお土産の購入、新道の駅で気に入った商品を直接販売者からECによる購入など、様々な波及効果も見込めると考えています。

委員長： 行政の基本計画段階でここまで収支のシミュレーションをするのは、なかなか見られないので、数字を評価するのは難しいと思います。観音寺市にとってはかなり規模の大きいプロジェクトであるので、市役所としても市民の方からの財政負担の懸念があるということを踏まえたうえで、細かく見ておくということが基本計画の趣旨であります。

委員D： 防災施設について、防災設備としてどのような機能が欲しいということはありませんか。また、自衛隊や消防などに意見を聞いたりしているのでしょうか。

事務局： 導入機能としては、防災倉庫を前提とし、耐震性の貯水槽や発電設備などを考えています。また、現在、自衛隊や消防、病院、国土交通省四国地方整備局の防災専門の部局に一度話しに行っています。実際に新道の駅の敷地をどのように利用するかにつ

いては、具体的にはまだ決まっていないので、これから検討していきます。

委員E： 建物や色々な機能に関わってくるので、しっかりと基本計画を詰めていただきたいと思います。イニシャルコストとのバランスを取りながら、市民の方にも喜んで使ってもらえる機能を作ってもらいたいと思います。

委員D： ハイスタッフホールがネーミングライツをしているように、新道の駅でもネーミングライツをしたり、企業相手にクラウドファンディングを実施するなど、プラスアルファとして少しでも予算の負担が減るような方法を検討しても良いと思います。

委員長： 道の駅そのものに企業の名前がつくのはあまり聞いたことはありませんが、膨大な施設を予定しているので、例えば、整備した広場の名前に何かネーミングライツをかけるなどの工夫を考える余地はあると思います。

委員長： 今回の段取りとしては、このシミュレーションの数字を含め、委員の皆さまにご承認いただいて、パブリック・コメントに進むということでしょうか。

事務局： ご承認いただければ、本日のこの基本計画（案）でパブリック・コメントを進めて、来年2月の市民検討委員会で答申を取りまとめていただく流れになっております。

委員長： 次回の委員会では、パブリック・コメントで出てきた意見とその修正状況を確認して最終決定となる予定です。

委員E： 来場者予測について、2030年の推計人口をベースに来場者を85万人と出していますが、将来的にはもっと人口減少があるのではないのでしょうか。

事務局： 将来的に減少したとしても、インバウンドや近隣5県以外の方も来られるので、そのような方をいかに観音寺市に引き連れてくるかによって、この数字を維持、もしくは、増やすことを目標としています。

委員長： 30年を見込むと四国の人口も2割減くらいになりそうな気がしますが、その分、現状シミュレーション上では含まれていない数字もあるので、マイナスの面とプラスの面をかけ合わせて、ある程度の見込みのものと推定になっていると思います。

また、機能としては、市民が繰り返し利用してもらえるような施設をということですが、来場者数予測のうち、市民の利用の数字は含んでいないので、そういった意味では、きちんと市民に愛される施設を設計、運営していくことができれば、85万人よりも上積みされた数字が期待できそうな気はします。新道の駅に良い施設を作っていくことを心に留めておく必要があると思います。

## (2) 新「道の駅」かんおんじ（仮称）をイメージする言葉について

事務局： 「議題2資料」を用いて説明。

委員長： 説明いただいた内容で、ご質問、ご意見ありますか。

委員長： 今回の提案内容ということで、No.1～5まで出てきた意見が掲載されていますが、No.1の「四国まんなか「出会う」ターミナル」が良いのではないかという意見が多かったということになります。その他意見が特に無ければ、「四国まんなか「出会う」ターミナル」を基本計画のサブタイトルに採用しようと思います。パブリック・コメントでも表紙に追加したいと思います。

委員B： このサブタイトルは、新道の駅の名称になるのでしょうか。

事務局： 名称ではなく、新道の駅をイメージする言葉として、基本計画の表紙に記載されま

す。新道の駅の名称は別途決めることとなります。

(3) 基本計画策定までの今後のスケジュール（予定）について

事務局： 「議題3資料」を用いて説明。

委員長： 説明いただいた内容で、ご質問、ご意見ありますか。（質問、意見等無し）

委員長： 本日、パブリック・コメントにかける基本計画（素案）を委員の皆さまにご承認いただきましたので、議題3資料のスケジュールで進めていきたいと思えます。また、次回は、基本計画（案）の最終審議を行っていただく段取りになっています。

(4) その他

事務局： 第10回市民検討委員会は、令和7年2月3日の予定です。

4 閉会